

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進V (女性性・生殖器機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年後期	1	15
担当教員	横山 幹文、武田 康成、青石 優子、外部講師	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (医師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

女性生殖器の機能障害によって起こる症状と主な疾患及び治療について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 女性生殖器の機能障害の成り立ちと症状・疾患・治療について説明することができる。
2. 妊娠・分娩・産褥にかかわる障害の症状・疾患・治療について説明することができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	女性生殖器の解剖・生理や症状と病態生理について、既習内容を確認しながら学ぶ。	講義
2	婦人科特有の診察、検査、治療を学ぶ。	講義
3	婦人科疾患各論①臓器別疾患:外陰、膣、子宮を学ぶ	講義
4	婦人科疾患各論②臓器別疾患:卵管、卵巣、骨盤内などを学ぶ	講義
5	婦人科疾患各論③機能的疾患:月経異常、更年期障害、不妊症、不妊治療、不育症、感染症、性感染症などについて学ぶ	講義
6	周産期①妊娠・分娩・新生児・産褥について学ぶ	講義
7	周産期②妊娠・分娩・新生児・産褥の異常・精神障害について学ぶ	講義
8	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験、授業への取り組みから、総合的に評価をする。

【6】 教科書

鈴木直:系統看護学講座 専門分野 成人看護学9 女性生殖器(第16版) 医学書院 2026 (電子版)
 森恵美:系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論(第15版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科(第4版) 株式会社メディックメディア 2018年
 病気がみえる vol.10 産科(第4版) 株式会社メディックメディア 2018年

【8】 受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。
 科目名から対象は女性ですが、男性も興味をもって学びましょう。